



「5分」が拓く？^{ひら}学校教育のちょっと未来

校長 角皆 裕文

暑さもようやく落ち着き、子ども達は運動会の練習に熱が入ってきました。夏休み中は盆踊りやわくわくキャンプなどにおいて、地域の皆様や保護者の皆様が子ども達のために一生懸命活動される姿に大変感銘を受けました。引き続き職員一同、皆さんとともに鴨居の子ども達を育て、導くパートナーとして尽力して参ります。

とある学校の校長室にて

A教諭：校長！どうして小学校の1コマは45分なんですか！色々調べたんですが、授業1コマを40分にすると色々なメリットが生まれそうなんです！

校長：（またキミか・・・）な、なんだ？唐突に。ちょっと待ちたまえよ。「1単位時間は45分」って学習指導要領に書いてあるだろう？

A：校長、よく読んでくださいよ。「1単位時間は各教科の年間授業時数を確保しつつ、各学校において定めてよい（要約）」と書かれていますよ。

校：そそそうね、知ってるとも・・・。40分にしたら、他で授業時数を確保できればいいんだったな。知っているとも。ん？ちょっとまてよ？40分授業を並べていくと、午前中に5時間終わることができるのか！ただ、5分カットしたら学力が落ちるんじゃないか？

A：ホントにそんなこと思ってるんですか？

校：いや・・・「学力が落ちる！」って誰かから言われないかなーと・・・。

A：目黒区では「40分授業午前5時間制」について20年前から研究されているようです。その中で1コマを40分としても、指導内容の精選・重点化を図ることで学力を維持、向上できることが示されています。そもそも授業が45分であることの根拠はあいまいで、「心理学の世界で『小学生の集中が続くのは45分が限界』とされているから」という説さえあります。

校：なるほど。集中力の続く午前中に効率よく授業を配置し、午後の活動にゆとりを持たせるのは理にかなっているのだな？

A：いいカンジですね、校長。ちなみに目黒区の取り組みでは、生み出した午後の時間に探求的な学びや子ども主体の学びに振り向けて、学校独自の教育課程編成を活性化しているようです。

校：そうすると、学校ごとに取り組みがだいぶ変わってくるんだろうな。

A：国も学校ごとに特色を出せるよう「柔軟に」「弾力的に」「学校裁量で」とメッセージを発信しています。しかしながら学校現場は“横並

び”をよしとする傾向があつて、なかなか進んでこなかったんですね。

校：よく勉強しとるなあ。キミ。しかしあれだな。「仕事するために子どもを早く帰すのか！」ってお叱りの声が聞こえてきそ・・・。

A：（にらみつけて）校長・・・。6時間目を終えて、子どもを帰し、私たちに残された時間は何分ですか？そこへきて校長は「休憩をとれ」と？休憩とったら、あとどれだけ残っているか知ってますか！！

校：も・・・もちろん知ってるとも・・・。さんじゅう・・・ごふん？

A：それだけの時間でどうやって教育の質を担保しろと！？

校：それはそうだ！これは誰に言えばいいのだ？教育委員会か！文科省か！！

A：校長・・・あなたは落ち着いてください。授業準備や研修の時間がとれば、それは子どもたちに還元されます。先生たちに余裕が生まれれば、教員の成り手不足の解消にもつながると私は思ってます。

校：立派！！いずれにしても、先生達は授業を再設計しないとイケないし、生み出された時間をどう使うか考えないとイケないし。そんなに簡単なことではないだろうな。

A：そうですね。ただ、これまで当たり前が続けていた“45分間”に疑いをかけて、柔軟な学校教育を作り出せるなんて、ワクワクしませんか？

校：確かに。疑うのは大好きだよ。

A：次の学習指導要領の議論もいよいよ大詰めです。国は目黒区の研究などをもとにして、画期的なことを提示しようとしています！

校：そうなのか！それについても簡単に説明してくれたまえ！

A：くれたまえ！じゃないですよ。もっと勉強してくださいよ！校長！僕、もう授業行かなきゃならないので、それについては鴨居小の学校だより10月号の中面を見てください！（校長、大丈夫かな・・・）

会話は事実に基づいたフィクションです

10月 行事予定表

日	曜日	行事等	下校時刻 ○の中の数字は授業時数です					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	校内図工作品展	⑤14:35			⑥15:20		
2	金	校内図工作品展	④13:30	⑤14:35				
3	土							
4	日							
5	月	【5・6年】運動会係活動	⑤14:20			⑥15:25		
6	火	【4～6年】クラブ活動	⑤14:20			⑥15:40		
7	水	【1～3年】読み聞かせ	④13:15	⑤14:20				
8	木		⑤14:35			⑥15:20		
9	金	前期終業式(創立記念日)	④13:30	⑤14:35				
10	土							
11	日							
12	月	スポーツの日						
13	火	後期始業式(創立記念式) 【6年】身体計測 【5・6年】委員会	⑤14:20			⑥15:25		
14	水	【全校】運動会全体練習 【5年】身体計測	④13:15	⑤14:20				
15	木	運動会全体練習予備日 【個別】身体計測	⑤14:35			⑥15:20		
16	金	運動会前日準備	④13:15					
17	土	運動会	④12:25					
18	日	運動会予備日						
19	月	運動会振替休日						
20	火	【4年】身体計測 代表委員会	⑤14:35			⑥15:20		
21	水	【4～6年・個】読み聞かせ 【3年】身体計測	④13:15	⑤14:20				
22	木	【2年】身体計測 【6年】社会科見学(歴史博物館)	⑤14:35			⑥15:20		
23	金	【1年】幼小交流(黒滝幼稚園)	④13:30	⑤14:35				
24	土							
25	日							
26	月	【1年】身体計測	⑤14:35			⑥15:20		
27	火	集会 【5・6年】委員会活動	⑤14:20			⑥15:25		
28	水		④13:15	⑤14:20				
29	木		⑤14:35					
30	金		④13:30	⑤14:35				
31	土							

11月の主な予定



日	曜日	行事等
5	木	【1年】遠足(四季の森公園)
6	金	【2年】遠足(こどもの国)
14	土	土曜参観(給食あり) ※16日(月)は代休になります。

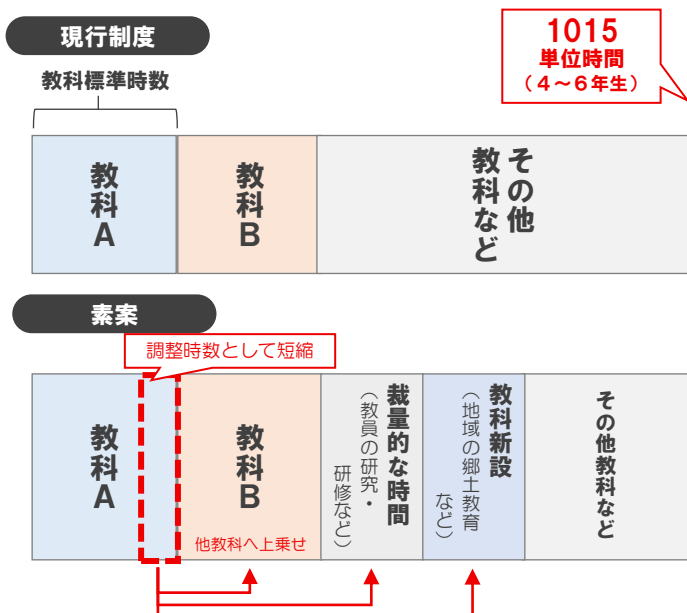
10月のカウンセラー来校日

6日(火)全日
20日(火)全日
27日(火)全日
教育相談を希望される方は児童支援専任または副校長までご連絡ください。

2030 ちよつと未来の 学校教育

2030 年からの全面実施を目指して検討が進められている次期学習指導要領ですが、中央教育審議会での議論が大詰めを迎え、去る8月31日には審議まとめ（素案）が公表されました。改訂の目玉のひとつである「調整授業時数制度」では、教科の標準時数の一部を他教科へ上乗せしたり、独自の教科を新設したりするなど、カリキュラムの弾力的な運用が可能になると言われています。巻頭言で紹介した目黒区の例では各教科を40分授業として、生み出した時数を各学校の創意工夫によって活用されています。本校でも導入、活用へ向けて検討が始まっています。

調整授業時数制度のイメージ



いつからできるの？



重要 災害時の引き取りについて

お子さんを引き取りに来る際は
**指示があるまで
校庭でお待ちください**



避難訓練等の見直しを行うのに伴い、保護者による「引き取り訓練」は今年度行いません。

児童が在校中、レベル4以上の気象警報や震度5強以上の地震が起きた際は、原則として児童を学校に留め置きます。帰宅については保護者への引き渡しが必要になりますが、その際は次のことにご留意ください。

発災時は職員による児童の安否確認が最優先となります。各教室等で人数確認が済み、職員による引き渡し体制が整い次第、保護者へ引き渡します。引き渡し体制が整う前に教室に来られますと混乱を生じますので、指示があるまでは校庭でお待ちください。